

夢だより 風だより

第三想一

四月号からスター
トした「夢だより風
だより」は、町長が
徒然想つてることを書
考えていることを書
き記し、皆さんにお
伝えするコーナーで
す。

このコーナーに關
するご意見、ご感想
がございましたら町
企画課へお寄せくだ
さい。

ひばり作業所をご存知だらう
か。

昭和60年に結成された「高根
沢町心身障害児者父母の会」の
皆さんが、運営している。

発足当初は、会員所有の建物
を無償で借り作業をしていたが、
その後、旧母子センターへ移転、
さらに平成4年、石末地内にあ
る現在の施設を建設し、以来、
今まで地道な活動を続けてい
る。

作業を通じて社会復帰と社会
参加に必要な訓練を行い、将来
の自立に結び付けることを目的
として、島田所長、千代指導員
のもと、12名の通所者が菓子セッ
トの袋詰作業等を行っている。
また、自然とのふれあいの中か
ら、作業にゆとりやうるおいを
持たせようと始めたシイタケ栽
培では、ホダ木を置かせていた

だいでいる石末の加藤智久さん
やキリンビル労組のご協力を
いただいてる。さらに、ホン
ダ労組からは、自動車の寄付を
いたくなど地域の多くの方々
がこの作業所を支えてくださっ
ていてる。

通所者が詰める菓子セットは、
1袋約4円の手間賃だが、1袋
100円の菓子セットを作業所
自らが販売すればそれ以上の利
益になる。今年の2月から5月
までに町内の学童保育所や保育
園の協力を得て、おやつとして
777袋を販売することができ
たそうである。1人でも多くの
皆さんが無理をすることなく
自然なかたちで協力をし、その
ことが、通所者の自立に役立つ
ことになれば、こんなにありが
たいことはない。何かの機会に
ご協力をいただければとお願ひ
する次第である。

障害児を持つ親達は、この子
のために1日でも長く生きなけ
れば、と考えている。このこと
は、親としてこの子の最期を見
届けたい、一生の無事を確認し
たいということだ。

こんな悲しいことを考えなけ
ればいけない社会を1日でも早
くなくすこと、これが私の政治
家としての原点であり、行政を
預かる者としての使命である。

町長 記